

SUPER GT 2018 series  
ROUND 7  
AUTOPOLIS GT 300km race  
oct.20<sup>th</sup> - oct.21<sup>th</sup>  
レース活動報告書



# 2018 SUPER GT Rd.6

## AUTOPOLIS GT 300KM RACE

オートポリス 4.674km x 65 LAPS (300km)

予選: 10月20日(土)

観客動員数 10,550人

決勝: 10月21日(日)

観客動員数 20,380人

### 3位表彰台を獲得！応援ありがとうございました！

2018 SUPER GTシリーズも終盤に差し掛かり、GT500/300共にシリーズタイトル争いへ注目が集まる中開催されたRd.7。国内でも特にモータースポーツに熱いファンが多い印象を受ける九州で、唯一のSUPER GT開催地となる大分オートポリスに、今年も九州中のファンが集結するレースウィークとなりました。もてぎで行われた今シーズン最後の公式テストにて走行したばかりではありましたが、34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3がオートポリスを走る機会は今までなく、Modulo Drago CORSEにとって初めてのオートポリスでの走行に挑む週末となりました。

前大会Rd.6菅生で4位入賞を果たし、表彰台圏内まであと一步のパフォーマンスでサーキットを沸かせ、メディアから「第7戦の優勝候補」と謳われるチームの一つであったModulo Drago CORSE。「悔しさ」も力に、チーム一丸となり準備をして第7戦を迎えました。

10/20 土曜日

#### 公式練習

10月20日(土) 9:00~10:45 天気: 晴れ コース: ドライ  
気温: 11℃ 路面温度: 15℃ (開始時)

朝晩の冷え込みが激しく、予想以上の寒さで迎えたオートポリスでの朝。天候には恵まれ陽が照り始めた午前9時から、この週末の最初の走行セッションが時間通りに開始されました。34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3にとって初めてオートポリスのコースを走行する時間となった公式練習は、道上選手が最初に走行することになりました。持ち込んだセッティングとタイヤとのマッチングなどを見ながら、ピットインを繰り返し予選へ向けて調整をしていきました。道上選手は早くも6周目にクラスポジション上位につけるタイムで走行。予想外の路面コンディションとタイヤの状況に何度かピットインをし時間を費やしながらも、順調に走行を続けました。そしてセッション1時間を経過したあたり、18周目に1'44.633のベストタイムを更新。25周目終わりに5度目のピットインをし、ドライバーを大津選手へ交代しました。大津選手が走行を開始した数周後、セッション残り20分に迫った時、GT300のマシンがクラッシュしコース上に止まってしまったため赤旗が提示されセッション中断となりました。セッションは10分間のGT300の専有走行から再開され、大津選手が引き続き担当し、公式練習セッションを最後まで無事に終えることとなりました。

ベストタイム: 道上 龍 選手 1'44.633 クラスポジション 9番手

## 【公式練習結果】

Pos	No.	Driver	Car	Tire	WH	Time	Behind
9	34	道上 龍	Modulo KENWOOD NSX GT3	YH	13	1'44.633	1.183
		大津 弘樹	Honda NSX GT3				
1	25	松井孝充	HOPPY 86MC	YH	35	1'43.450	N/A
		坪井翔	TOYOTA86MC				
2	96	新田守男	K-tunes RC F GT3	BS	24	1'43.816	0.366
		中山雄一	LEXUS RC F GT3				
3	18	中山友貴	UP GARAGE 86MC	BS	28	1'44.116	0.365
		小林崇志	TOYOTA86MC				

## 公式予選 Q1・Q2

### 公式予選 GT300 Q1

14:30 ~ 14:45

天候: 晴れ コース: ドライ 気温/路温: 15度/34度 (開始時)

ドライバー: 道上 龍 選手

午後になりGT300予選Q1の開始時間には15℃まで気温が上がり日向では暖かさを感じる陽気の中、予選セッションがGT300のQ1からスタートしました。34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3のQ1を担当したのは道上龍選手。朝の練習走行から予選までにできる限りの調整を行い、予選に挑むことになりました。オンタイムで29台のGT300マシンが一斉にコースインをすると、道上選手も走行を開始。計測1周目に早くも8番手のタイムをマークします。他マシンも周回を重ねる毎にトップタイムは次々と更新され、計測4周目に道上選手は1'43.877をマークし34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3は4番手へ浮上。しかしその直後に、他マシンがコース上でクラッシュし赤旗が提示され予選は一時中断となりました。道上選手はピットに戻ると、Q1通過に十分なポジションとタイムであったため、タイヤを温存するべく34号車はそのままQ1を終えることにしました。その後予選は残り5分で再開し、チェッカー後にModulo Drago CORSEは5番手でQ2進出が決定しました。

ベストタイム: 道上 龍 選手 1'43.877 クラスポジション 5番手

## 公式予選 Q2 (GT300)

15:20 ~ 15:30

天候: 晴れ コース: ドライ

ドライバー: 大津 弘樹 選手

Q2へ進出を決めたのは、14台のマシン。34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3の決勝グリッド順位を決めるQ2を託されたのは、今シーズン初めてQ2を担当する大津弘樹選手でした。Q2開始直後、コース上でスピンをしてしまうマシンが見られましたが、セッションは中断されることなく続行。大津選手はコースインしアタックラップ1周目から5番手につけるタイムをマークした後、上位ポジションをキープするタイムで順調に走行を重ねていきました。そしてアタックラップ3周目にセクター1・2のベストを更新する速さを見せ、1'43.574のタイムを叩き出し6番手をマークしました。テクニカルな上りのセクションであるS3に多少苦戦をしてしまった34号車ではありますが、Q2を最終的に7番手で終えることができました。

表彰台圏内を目指すのに十分な7番手グリッドを獲得し、翌日の決勝に期待が高まる予選結果となりました。

ベストタイム: 大津 弘樹 選手 1'43.574 クラスポジション・グリッド 7番手

## 【Rd.7 GT300予選結果】

Pos	No.	Driver	Car	Tire	WH	Time
7	34	道上 龍	Modulo KENWOOD NSX GT3	YH	13	1'43.877
		大津 弘樹	Honda NSX GT3			1'43.574
1	25	松井 孝充	HOPPY 86MC	YH	35	1'44.497
		坪井 翔	TOYOTA86MC			1'42.498
2	10	星野 一樹	GAINER TANAX triple a GT-R	BS	20	1'44.385
		吉田 広樹	NISSAN GT-R NISMO GT3			1'42.976
3	5	坂口 夏月	マッハ車検MC86 Y's distraction	BS	0	1'44.002
		平木 湧也	TOYOTA86MC			1'43.073

Q2 Time

### ウォームアップ走行

12:25 ~ 12:45

天候: 晴れ コース: ドライ

晴天に恵まれたRd.7、決勝日のは一段と朝の冷え込みが厳しく感じる中スタートしました。予選日の約倍である20,000人を超える観客がオートポリスに訪れ、ピットウォークやイベント広場は賑わいを見せる中、予定時刻通りの12:25より決勝前の20分間の走行が開始されました。34号車 Modulo KENWOOD NSX GT 3は、決勝のスタートドライバーを務める道上龍選手から走行を開始。予選でじっくりこなかった問題を解決すべく調整をした最終確認を行いながら、周回を重ねていきました。そして道上選手は計測6周目終わりにピットインをし、ドライバーを大津選手へと交代。セッション後半も大津選手が最後の確認のために4周走行し、ウォームアップ走行を終えることとなりました。

ベストタイム: 道上 龍 選手 1'47.844 クラスポジション 16番手

## 決勝レース 65LAPS/300km

### 決勝

14:00 ~

天候: コース:

気温/路温 (スタート時): 17℃/36℃

ウォームアップ走行で思った手応えを感じられずにいた34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3は、決勝直前のグリッドウォーク開催時に大幅なセッティング変更を行うことを決断し、1時間近く行われたグリッドウォークではメカニックたちが懸命に作業を行いました。そして定刻通り、65週の決勝レースがスタート。今大会のスタートドライバーも道上龍選手が務めることになりました。予選日のセッションを通して得た感触で、タイヤマネージメントが重要となると考えたModulo Drago CORSEは、道上選手がレース前半をミニマム周回数で走行し、タイヤ交換を行い、残りを大津選手が走行する作戦を予定していました。決勝のスタートが切られた直後1周目からオーバーテイクに成功した道上選手は、早くも2周目にベストタイムの1'46.674をマークし、3周目には5番手までポジションアップしました。その後、タイヤマネージメントを重視しながらも前車との距離を縮めつつ、GT500との混走の中もポジションをキープしながら走行を続けました。当初予定していたミニマムの周回数が迫っていた周回17周目に、GT300のマシンがコースオフしマシンをストップさせてしまいました。車両回収のためにセーフティーカーが導入され、追い越し禁止となりタイム差がゼロとなるセーフティーカーランは4周に渡って行われました。再スタートが切られ、セーフティーカーランによる「リセット」を上手く使った道上選手は、61号車と96号車と3番手争いを繰り広げサーキットの注目を集めました。セーフティーカーラン中にスロー走行していたことも相まって、決勝のコンディションではタイヤを予想周回数よりも長くもたせることができた34号車。3番手争いを繰り広げていた道上選手でしたが、前方マシンよりも早くピットインをすることを決断し、26周目終わりにルーティンのピットインをすることを決断しました。

ドライバーを大津選手へ交代し、迅速なピットワークを行いピットアウトした34号車は、前方を走り同タイミングでピットインした61号車よりも前にコースインすることに成功し、17番手でコース復帰をしました。大津選手は48秒台の安定したタイムで、前方との差を縮めながら順調に走行。ほぼ全GT300のマシガルーティンのピットワークを終えた43周目には、5番手までポジションアップしました。48周目には数周に渡りバトルを続けていた65号車を見事にオーバーテイクし、4番手へ浮上。表彰台圏内まで2秒あった3番手マシンとのギャップも、55周目には僅か0.3秒差にまで縮める勢いを見せながら大津選手は走行していきましました。そしてレース残り数周のカウントダウンが始まった57周目に、大津選手は3番手を走行していた11号車を見事1コーナーでオーバーテイクし、34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3は3番手へと浮上しました。

GT500のトップがチェッカーを受けModulo Drago CORSEにとって全61周のレースとなった第7戦を、見事3位表彰台という結果で締めくくることができました。

素晴らしい追い上げを見せながら表彰台まであと一步届かず…と悔しさも残った菅生での第6戦。悔しさをもバネにして掴んだ第7戦での表彰台は、今シーズン新規参戦チームながら見せたチーム力の強さを証明する結果となりました。

今シーズンのSUPER GTは早くも残すところ最終戦のみとなりました。

初年度を締めくくる素晴らしい結果で最終戦となるよう、引き続きModulo Drago CORSEへ応援よろしくお願い致します。

ベストタイム: 道上 龍 選手 1'46.674 3位 (11ポイント獲得)

## SUPER GT Rd.7 AUTOPOLIS 決勝結果

Pos	No.	Driver	Car	Tire	WH	Laps	Behind
1	96	新田 守男	K-tunes RC F GT3	YH	35	61	1:56'44.520
		中山 雄一	LEXUS RC F GT3				
2	87	佐藤公哉	リーガルフロンティア ランボルギーニGT3	BS	6	61	17.228
		元嶋佑弥	Lamborghini HURACAN GT3				
3	34	道上 龍	Modulo KENWOOD NSX GT3	YH	13	61	26.403
		大津 弘樹	Honda NSX GT3				





道上 龍選手

スタート直後に他マシンによるアクシデントがありましたが、巻き込まれることなく良いスタート切れたので落ち着いてレースをすることができました。不安要素だったタイヤの問題が決勝で走ってみると、予想していたより保ちが良く、状況が好転してくれていたのが良かったです。自分のペースを保ちながら、タイヤのマネージメントに重点を置いて走行しました。当初は予定していたミニマムラップ18周目でのピットインも考えたのですが、いけるところまでいこうと判断しました。SC後のペースも悪くありませんでしたが、前方いくマシンに支えたためペースが上がらないと判断し、25周目にピットイン。大津選手に交代し、前半に使用していたタイヤコンパウンドの感触が良かったので、引き続き後半も同じコンパウンドのタイヤで走行することにしました。決勝スタート前ギリギリまで、チームがセットアップを考えてくれたおかげが大きく、この大会で表彰台に登れると予想していなかった分、今シーズン初めての表彰台という結果はとても嬉しいです。次に繋がるレースができたと思います！引き続き、次戦の最終戦も最後まで応援よろしくお願いします。



大津 弘樹選手

まず、初めてSUPER GTで表彰台に登れて本当に嬉しいです！僕だけの力ではもちろんなく、今シーズン色々あった中で、チームが諦めずに戦ってくれたおかげだと思います。決勝は作戦もベストな戦略でしたし、ピット作業も早くチーム一丸となって戦えたレースだと思います。僕が目指しているのはやはり「優勝」なので、まだあと一戦残っている最終戦を、表彰台の一番高いところで迎えらるるよう引き続きがんばります。第7戦の応援ありがとうございました！



チョン・ヨンフン監督

予選日の朝のフリー走行では思った通りにいかず、路面や気温の状況が大きな原因であったと思いますが、周りのチームも同じように苦戦していたようでした。予選に向けてセッティングを見直したのですが、期待した結果に繋げることができませんでした。決勝前の20分間の走行での感触から、決勝直前のグリッドで大幅にセッティングを変える賭けにすることにしました。リスクを背負った選択でしたが好転し、決勝のコンディションとマッチしてくれました。レースはスタートタイヤのコンパウンドではもたないのではないかと懸念していたので、道上選手がミニマムの周回を走行し、残りを大津選手に走行してもらう予定でした。しかし予想よりもタイヤのもちがよく、ペースが落ちなかったことは幸いでした。最終戦のもてぎは、公式テスト時には気温が高く、レース時を想定してのデータを収集することが思ったよりできなかったのですが、後半戦になりマシンもシーズン序盤よりまとまってきた自信はあるので、今までのデータを元にノーウェイトでの最終戦に挑みたいと思います。



## Modulo Drago CORSE

34号車 Modulo KENWOOD NSX GT3

スタートグリッド 7番手

決勝結果 GT300クラス 3位

Best Time 1'46.674

決勝で素晴らしい活躍を見せたチームに送られる  
「J SPORTS ベストパフォーマンス賞」  
を受賞しました！！

今大会も応援ありがとうございました。

# 【テレビ放映情報】

## 《CS放送》



10月22日 (月) 午後06:30 - 午後10:00	SUPER GT 2018 第7戦 オートポリス 決勝	J SPORTS 4	11月05日 (月) 午後00:45 - 午後01:00	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 4	11月09日 (金) 午後05:00 - 午後06:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 7
10月23日 (火) 午後00:00 - 午後01:30	SUPER GT 2018 第7戦 オートポリス 予選	J SPORTS 4	11月05日 (月) 午後11:00 - 深夜 02:00	【モトスポンサー】 SUPER GT 2018 【オンボード カメラ+】 第7戦 オートポリス 決勝	J SPORTS 3	11月09日 (金) 午後06:00 - 午後07:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 3
10月23日 (火) 午後01:30 - 午後05:00	SUPER GT 2018 第7戦 オートポリス 決勝	J SPORTS 4	11月05日 (月) 深夜 02:45 - 深夜 03:00	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 1	11月09日 (金) 午後08:00 - 午後09:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 2
10月24日 (水) 午後10:00 - 深夜 01:30	SUPER GT 2018 第7戦 オートポリス 決勝	J SPORTS 4	11月06日 (火) 午後08:15 - 午後08:30	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 3	11月09日 (金) 午後11:00 - 深夜 00:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 4
10月29日 (月) 午後02:00 - 午後03:30	SUPER GT 2018 第7戦 オートポリス 予選	J SPORTS 4	11月06日 (火) 深夜 02:45 - 深夜 03:00	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 3	11月10日 (土) 午前10:00 - 午前10:55	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 2
10月29日 (月) 午後03:30 - 午後07:00	SUPER GT 2018 第7戦 オートポリス 決勝	J SPORTS 4	11月07日 (水) 午後04:00 - 午後04:25	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 1	11月10日 (土) 午前11:00 - 午前11:20	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 7
10月31日 (水) 午後08:00 - 深夜 00:00	SUPER GT 2018 第7戦 オートポリス 決勝	J SPORTS 4	11月08日 (木) 午前06:30 - 午前07:30	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 3			
11月01日 (木) 午後11:00 - 午前11:15	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 3	11月08日 (木) 午後03:45 - 午後04:00	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 1			
11月02日 (金) 午後10:30 - 午後10:45	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 3	11月08日 (木) 午後05:00 - 午後06:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 2			
11月03日 (土) 午前08:30 - 午前08:55	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 2	11月08日 (木) 午後10:00 - 深夜 01:00	SUPER GT 2018 【オンボードカメラ+】 第7戦 オート ポリス 決勝	J SPORTS 3			
11月03日 (土) 午前09:30 - 午前09:55	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 4	11月08日 (木) 深夜 03:00 - 午前04:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 1			
11月03日 (土) 午後11:30 - 午後11:45	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 1	11月09日 (金) 午前10:00 - 午前11:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 3			
11月03日 (土) 午後04:00 - 午後05:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 3						
11月03日 (土) 午後06:00 - 午後07:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 4						
11月03日 (土) 深夜 03:30 - 深夜 03:45	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 1						
11月04日 (日) 午前10:15 - 午前10:30	SUPER GT 2018 ダイジェスト 第7戦 オートポリス	J SPORTS 3						
11月04日 (日) 午前10:55 - 午前11:55	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 2						
11月04日 (日) 深夜 00:00 - 深夜 01:00	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 4						
11月06日 (月) 午前07:30 - 午前08:30	GTV2018 ~SUPER GT トークバラエティ~ #7 prime video   チャンネル	J SPORTS 7						

## 《地上波放送》



### GTプラス

テレビ東京系列

毎週日曜日 午後11時30分から

放映局：テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビ北海道、  
テレビせとうち、TVQ九州